

環境経営レポート

2022年度

(2022年5月 ～ 2023年4月)

第14期

2022年 8月19日 発行

備後衛生有限会社

広島県世羅郡世羅町大字赤屋746番地

TEL:(0847)24-0367

FAX:(0847)24-0377

環境経営方針

〔環境経営基本理念〕

備後衛生有限会社は、芦田川・馬洗川源流域の水環境保全、水資源の循環利用ならびに廃棄物の適正処理をとおして、地域の自然環境を守り“水をきれいにする会社”と皆様に認識いただける様、事業活動を行なっております。

新しい技術を積極的に導入しながら受託する水処理施設より放流される再生水の品質をより良くし、付帯設備にも省エネ機器を推奨する事で、より地域に根ざした循環型社会の構築に貢献出来るものと考えます。

みんなの積極的な創意により環境がより良くなる事を目指します。

〔環境保全への行動指針〕

私たちは具体的に次のことに取り組みます。

■環境経営目標・環境経営計画を定め、実施、評価、見直しを行ないながら継続的な改善に努めます。

- ① 電力及び燃料を中心とした二酸化炭素排出量の削減
- ② 事業活動に伴う一般廃棄物(事業系ごみ)の削減
- ③ 地下水使用量の削減
- ④ 社内でのグリーン購入の推進、お客様への省エネ製品の推奨

■事業活動に係る関連法規・条例・協定等を遵守し、安全に配慮しながら適正業務に努めます。

■全従業員に対し、環境経営方針を周知徹底するとともに、意識の向上に努めます。

制定日:2008年4月1日

改定日:2023年4月1日

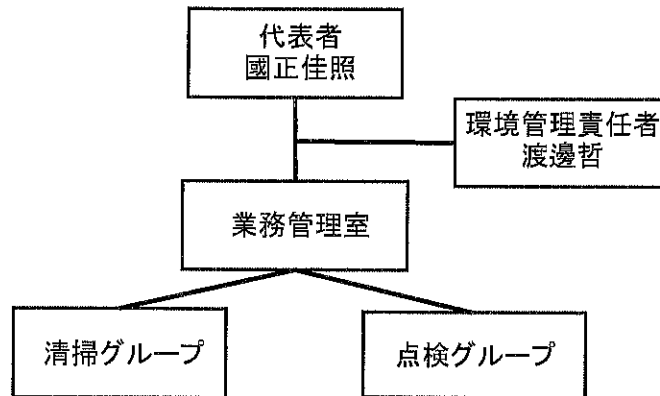
備後衛生有限会社

代表取締役 國正 佳照

[会社概要]

社 名	備後衛生有限会社
代 表 者	代表取締役 國正 佳照
本 社	広島県世羅郡世羅町大字赤屋746番地
出 張 所	広島県三原市久井町坂井原4614番地1
創 業	1969年5月
資 本 金	600万円
売 上 高	132万円(産廃部門)
従 業 員 数	19名
床 面 積	424.97㎡
廃棄物取扱量	一般廃棄物 液状 8,752.03kl 産業廃棄物 汚泥 103.93t (2022年5月～2023年4月)
車 両 台 数	19台
環境管理責任者	渡邊 哲
営 業 品 目	・一般廃棄物収集運搬業(液状) ・産業廃棄物収集運搬業 ・浄化槽清掃業 ・浄化槽保守点検業 ・下水処理施設維持管理業

組織図及び役割



EA21認証・登録
の対象範囲

備後衛生有限会社 本社・久井出張所
一般・産業廃棄物収集運搬 浄化槽清掃 浄化槽保守点検
下水処理施設維持管理

役割・権限・責任	
代表者	○環境責任に関する統括責任
	○環境経営システムに必要となるモノの決済
	○環境管理責任者の任命
	○環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知
	○環境目標の設定の承認
	○環境活動実施計画書の承認
	○法規制等の要求事項登録簿を作成
	○全体の取組評価と見直し指示
	○環境経営レポートの承認
環境管理 責任者	○環境経営システムの構築・実施・管理
	○法規制等の要求事項登録簿を作成
	○環境活動実施計画書原案の作成
	○環境活動の取組結果を代表者に報告
	○環境経営レポートの作成
	○環境活動実施計画の実績集計
	○燃費向上への対策
	○チェック、フォロー
	○各排出量の定期チェック
	○分別・資源化対策
全従業員	○環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	○決められたことを遵守し、自主的・積極的に環境活動へ参加
	○各自、燃費計算し報告

[許可・登録内容]

許可内容	許可番号	許可年月日	有効年月日	許可品目・範囲
世羅町一般廃棄物処理業	第10号	令和5年4月1日	令和7年3月31日	旧甲山町の一部 旧世羅西町の一部
世羅町 浄化槽清掃業	第2号	令和5年4月1日	令和7年3月31日	旧甲山町の一部 旧世羅西町の一部
三原市一般廃棄物処理業	第13号	令和4年4月1日	令和6年3月31日	久井町
三原市 浄化槽清掃業	第3号	令和4年4月1日	令和6年3月31日	久井町
産業廃棄物収集 運搬業(広島県)	第03406154310号	令和2年5月6日	令和7年5月5日	汚泥・廃プラ・動植物性 残さ・動物のふん尿 (積替保管なし)
産業廃棄物収集 運搬業(山口県)	第03500154310号	令和2年4月20日	令和7年4月19日	汚泥(積替保管なし)

登録内容	登録番号	登録年月日	有効年月日	区域
広島県浄化槽 保守点検業	県61第0720号	令和4年7月11日	令和7年7月10日	世羅町の一部 三原市久井町
広島県浄化槽協会 検査補助員登録 事業所	広浄協 事007号	令和4年4月1日	令和9年3月31日	—

[業務車両・資格一覧]

運搬車両	バキューム車	7台
	ダンプ	1台
	軽トラック	1台
保守点検車両	軽	8台
事務車両	軽他	2台

資格種類	
浄化槽管理士	9名
浄化槽技術管理者	7名
浄化槽清掃技術者	3名
浄化槽清掃実務講習修了者	6名
し尿・汚泥再生処理施設技術管理士	1名
産業中間処理施設技術管理士	1名
下水道技術管理者(処理施設)	6名

資格種類	
下水道技術管理者(管路施設)	4名
浄化槽設備士	1名
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	2名
第3種電気主任技術者	1名
第二種電気工事士	4名
産業洗浄技能士(高圧洗浄作業)	9名
浄化槽法定検査補助員	9名
安全衛生推進者	他 1名

[廃棄物処理料金]

廃棄物の種類・性状を確認させていただいた上、お見積りさせていただきます。

[環境負荷の実績]

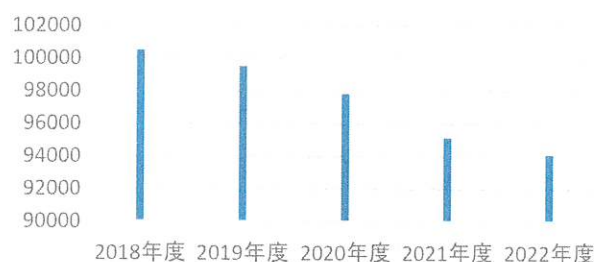
当社では現在の環境負荷の現状を踏まえ、環境負荷低減の目標及び活動計画を定め2008年より活動を開始しました。

環境負荷項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	100,521	99,516	97,855	95,157	94,105.84
使用電力量	kwh	5,989	5,892	6,498	5,952	6,290
化石燃料(軽油)	L	30,348.15	30,255.48	29,651.82	29,119.78	28,265.10
化石燃料(ガソリン)	L	6,804.86	6,546.45	6,963.11	6,546.22	6,936.06
一般廃棄物排出量	kg	2,030	1,838	1,488.80	518.8	407.8
地下水使用量	m³	116	121	172	156.6	164.6

(会計年度 5月～4月による)

※排出係数は中国電力(株)2012年度の数値 0.738(kg-CO2/kwh)となっております。

二酸化炭素総排出量の推移



環境目標項目	単位	基準数値	目標値	実績値	評価	内容
使用電力の削減	kwh	5,788	5,730	6,290	×	結果は9%の増加であった。感染症対策及び業務の電子化が主要因と考えられる。
	kg-CO2	4,272	4,229	4,642.02		
自動車の燃費向上	km/L	軽 5.0	5.1	5.17	○	概ね達成できた
		ガ 11.5	11.7	12.6		
一般廃棄物の削減	kg	680	673	407.8	○	40%削減出来た。現状、一番量があるのは段ボールである
地下水使用の削減	m³	172	172	164.6	○	削減できている。
グリーン購入	点	—	20	40	○	品目を増やしていきたい

※基準数値 電気・燃費は2013年 地下水は2020年 廃棄物は2021年です

2022年度、主要な環境活動計画の内容と取組み結果の評価

【2022年5月1日～2023年4月30日まで】

取組みの計画	達成状況	次年度	内容
不要電力の消灯	○	継続実施	可能な限りこまめに消灯する
収集運搬経路の効率化	○	継続実施	リサイクル車との棲分け実施
保守点検経路の効率化	○	継続実施	ロスの少ないルーティンワーク実施
分別・資源化の徹底	○	継続実施	可能な限り資源化を行なう
節水シールの貼付け	○	継続実施	ちょっとした取組みも必要
有害性の少ない資材の購入	○	継続実施	日常使用しないものを購入の際、注意
省エネ性能の高い電気製品の購入	○	継続実施	比較検討して購入
燃費の良い自動車の採用	○	継続実施	比較検討して購入
事務用品グリーン品質の向上	○	継続実施	要チェックする
使用電力の削減			
自動車の燃費向上			
一般廃棄物の削減			
地下水使用の削減			
グリーン購入の推進			

※斜線部は上部において取組評価あり

[環境目標]

環境目標の設定 2023年から3年間

環境目標項目	単位	基準値	目標値 (2023年)	2024年	2025年
使用電力の削減	%	—	99%	99%	99%
	kwh	5,952	5,892.5	5,892.5	5892.5
	kg-CO2	3,190	3,158	3,158	3,158
自動車の燃費向上	%	—	102%	102%	102%
	km/L	軽	5.0	5.1	5.1
		ガ	11.5	11.7	11.7
一般廃棄物の削減	%	—	99%	99%	99%
	kg	680	673	673	673
地下水使用の削減	%	—	100%	100%	100%
	m³	172	172	172	172
グリーン購入	点	—	25	25	25

環境目標達成に向けて以下の活動を実施しています。

2023年度の取組み内容

環境目標項目	取 組 内 容
使用電力の削減	不要時の電源オフ運動 不在時の照明オフ運動 タップコンセントを利用した節電
自動車の燃費向上	急発進・急加速を行なわない 駐車時のアイドリングストップ 夏季・冬季のエアコン弱運動
廃棄物の削減・発生抑制	廃棄物の発生抑制 使用済用紙の裏側利用 印刷ミスの低減 分別の徹底 可能な限りの資源化
地下水使用量の削減	使用水量の管理 蛇口をこまめに開閉する 洗車時間の短縮化・タオル拭きの実施
グリーン購入	商品選定・購入 ブロワ等お客様への省エネ商品推奨

[代表者による全体評価と見直しの結果]

1年間の取組みの評価

環境目標項目	評 価
使用電力量の削減	基準年と現在とによる業務のあり方、コロナ対策等による変化が感じられる。次年度より目標値を変更して取組を行う
燃料使用量の削減	リサイクル車との作業の棲み分けをする事で軽油の使用量を削減できたと考え。一方ガソリン使用量は増加となっているがこれは稼働台数の増加と考え、次年度注視していきたい。
一般廃棄物の削減・資源化	廃棄物を可能な限り資源化できていると感じる。継続していきたい。
地下水使用量の削減	リサイクル車の洗浄が課題ではあったが目標達成出来ている

代表者による評価

私たちの仕事は廃棄物をお客様のもとから安全に処理場まで運ぶこと、お客様の使われた水をきれいにして自然にかえすことです。その為に、環境負荷をかけながら事業活動をしています。ふと、自社は2050年までにカーボンニュートラルを実現できるのだろうか、まわりの方々はどんな知恵で実現するのだろうかと考えます。環境保全で地域と共生すること今日より明日が良くなること、多くの情報を聞き、取り入れ、大きな目標を意識しながら目の前の事象に対峙していきたいと思います。

[環境関連法規への違反、訴訟等の有無]

業務に適用される主な環境関連法規は以下となっております。

環境関連法規	適用される事項
廃棄物処理法	し尿及び汚泥の収集運搬業(業務の内容)
浄化槽法	浄化槽清掃業・浄化槽保守点検業(業務の内容・書類の提出)

環境関連法規への違反は過去3年間ありませんでした。

また、関係当局よりの指摘、利害関係者からの訴訟も同様にありません。

[緊急事態対応訓練]

2023年3月30日

本社車庫にて手順書を用いながら作業の確認を行いました。



[環境保全活動]

久井出張所へのグリーンカーテンの設置



世羅町小谷 八田原ダム湖 夢吊橋(ゆめつりばし)駐車場清掃

